

教職員の皆さんへ サマーセミナー受講生募集

平成24年度 教職員サマーセミナー

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、
教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身につけませんか。
明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

15講座を開きます。詳細は、
総合教育センターのWebページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

宇都宮大学教育学部のWebページ

<http://ks001.kj.utsunomiya-u.ac.jp/>

に記載されています。

対象者

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

会場と時間

宇都宮大学において、午前9時30分から午後4時まで

申し込み方法

7月6日(金)までに、次のいずれかの方法により申し込んでください。

① FAXによる申込み

次ページのFAX送信票に必要事項を記入して送信してください。

FAX番号：028-649-5334

② メールによる申込み

勤務校名、同電話番号、同FAX番号、申込者氏名、研修区分、
受講希望講座番号、受講希望講座名を明記して次のアドレスに送信
してください。

ssc-1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

旅費等

宇都宮大学や総合教育センターでは負担しません。講座によっては、教材費の負担
をお願いする場合があります。

その他

① このセミナーは、初任者研修、教職2～5年目研修、養護教諭2～5年目研修、
学校栄養職員2～5年目研修、教職10年目研修、教職20年目研修の選択研
修の対象になっています。

② 会場の宇都宮大学には自家用車で入構できます。大学へのアクセス及び構内案
内は、宇都宮大学教育学部Webページで確認してください。
当日、正門の守衛所でも案内します。

主催 宇都宮大学教育学部・栃木県総合教育センター

平成 24 年度 教職員サマーセミナー受講申込み FAX 送信票

送 信 先	宇都宮大学教育学部 教職員サマーセミナー担当 宛			F A X	0 2 8 - 6 4 9 - 5 3 3 4
発 信 元 (申込者)	勤務校名	立 学校			
	電話番号	— —	F A X 番号	— —	
	申 込 者 氏 名	(ふりがな)			
	研修区分	選択研修として受講を希望される方は、該当の口欄に ○ をご記入ください。 ☐ 初 任 者 研 修 ☐ 教 職 2 ～ 5 年 目 研 修 ☐ 養護教諭 2 ～ 5 年 目 研 修 ☐ 学校栄養職員 2 ～ 5 年 目 研 修 ☐ 教 職 1 0 年 目 研 修 ☐ 教 職 2 0 年 目 研 修			

希望	講座 番号	講 座 名	分 野	講 師	実施日	定員	対象教員	その他
	1	森鷗外の歴史小説を読む	日 本 文 学	守 安 敏 久	7月23日 (月)	30名	小・中・高・特	☒ W
	2	成人教育の視点から考える校内研修の方法	教 育 学	廣 瀬 隆 人	7月24日 (火)	30名	小・中・高・特	
	3	外国人児童生徒教育実践を創造するための視点・視野	外国人児童生徒教育	丸山 剛史・ほか	7月24日 (火)	30名	小・中・高・特	☒ W
	4	ICF を活用した特別支援教育	特別支援教育	池 本 喜 代 正	7月30日 (月)	46名	小・中・高・特	☒ W
	5	アジアのかたち・日本のかたち～漆 japan ～漆絵による表現 絵付け ワークショップ～	美 術 工 芸	松島さくら子	8月 1日 (水)	20名	小・中・高・特	☒ W
	6	新学習指導要領における道德教育	教 育 学	上 原 秀 一	8月 1日 (水)	20名	小・中・特(小・中)	
	7	おもしろ電子工作	技 術	苫 米 地 義 郎	8月 8日 (水)	6名	小・中・高・特	
	8	発育期における体育・スポーツ指導のあり方	保 健 体 育	加 藤 謙 一	8月 9日 (木)	20名	小・中・高・特	☒ W
	9	校内授業研究を中心とした学校改善	教 育 学	松 本 敏	8月10日 (金)	50名	小・中・高・特	
	10	算数的・数学的活動を中心とした授業づくり ～数学的思考力の育成を目指して～	数 学	牧 野 智 彦	8月10日 (金)	20名	小・中・特(小・中)	
	11	授業に役立つ情報メディアの活用と学習指導	情 報 教 育	石川 賢・ほか	8月21日 (火)	25名	小・中・高・特	
	12	伝統染織にみる感性を取り入れた家庭科教育	生活科学・環境教育	佐々木 和 也	8月21日 (火)	20名	小・中・高・特	☒ W
	13	放射線について体験的に学ぼう	環境教育・理科教育	山田 洋一・ほか	8月22日 (水)	20名	小・中・高	☒ W
	14	中学校・高校の英語教科書からの新展開	英 語 教 育	幡 山 秀 明	8月23日 (木)	30名	小・中・高・特	☒ W
	15	ヨーロッパ文明の正体	世 界 史	下 田 淳	8月24日 (金)	50名	小・中・高・特	

W を付した講座については、準備・注意事項等がありますので、Web ページ参照の上、ご確認ください。

(備 考)

- 参加を希望する講座の希望欄に○を付けてください。(複数選択可)
- 各講座の詳細は、総合教育センターまたは宇都宮大学教育学部の Web ページでご確認ください。
- 申込期限は、7月6日(金)です。
- 定員を超えた場合は、多少の増員をすることもあります。選択研修として受講される方を優先し、他は先着順とします。
- 受講の可否は、7月中旬頃に各所属長に通知します。
- FAX での申込みの際は、本送信票をお使いください。

講座案内

1. 会場・開講時間は、宇都宮大学・午前9時30分～午後4時です。
2. 講座によっては、定員を超えて受け付けることができない場合もあります。
3. 締め切り後、7月中旬頃までに所属機関宛に受講の可否をご連絡致します。

7月23日(月)

分野:日本文学

1：森鷗外の歴史小説を読む

講師：守安 敏久

会場：生涯学習教育研究センター A講義室

対象者：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定員：30名

準備等：森鷗外『山椒大夫・高瀬舟』（新潮文庫）

教材とする作品を事前に読んできてください。

概要： 森鷗外の歴史小説「興津弥五右衛門の遺書」「護持院原の敵討」「山椒大夫」「最後の一句」「高瀬舟」を扱い、鷗外の文学的方法と思想を考察します。安寿と厨子王の物語「山椒大夫」、安楽死の是非を問う「高瀬舟」など、多くは親しみやすい作品です。

教材とする作品を事前に読んできてください（新潮文庫『山椒大夫・高瀬舟』所収）。この新潮文庫をテキストとしますので、各自の責任で事前に購入をお願いします。

7月24日(火)

分野:教育学

2：成人教育の視点から考える校内研修の方法

講師：廣瀬 隆人

会場：生涯学習教育研究センター A講義室

対象者：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定員：30名

準備等：なし

概要： 成人教育の理論を応用した、校内研修の手法をいくつか紹介します。更に、90分でどのように展開するのか、その展開方法を受講者とともに考えていきます。

7月24日(火)

分野:外国人児童生徒教育

3 : 外国人児童生徒教育実践を創造するための視点・視野

講 師 : 丸山 剛史、森田 香緒里、小原 一馬 (教育学部)
田巻 松雄 (国際学部)、鎌田 美千子 (留学生センター)

会 場 : 小会議室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 30名

準備等 : 外国人児童生徒向けに使用したり、工夫したりしている資料
(教材や通知文など)があればお持ちください。

概 要 : この講座は、外国人児童生徒教育を実践するための視点、視野について学習 (栃木県内の動向、他地域の取り組み、外国における移民に対する言語教育、年少者に対する日本語指導など) を深めることを目的としています。

本年度の講座では、参加者同士の交流を重視し、外国人児童生徒教育の創造に向けた協議も行いたいと考えています。

7月30日(月)

分野:特別支援教育

4 : ICF を活用した特別支援教育

講 師 : 池本 喜代正

会 場 : 生涯学習教育研究センター A講義室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 46名

準備等 : 【参考文献】

厚生労働省大臣官房統計情報部編、ICF-CY 国際生活機能分類
児童版、厚生統計協会。

※特に購入する必要はありません。

概 要 : 本講座では、特別支援教育に関する国際的動向および国内の動向を踏まえた上で、ICF (国際生活機能分類) による障害観・教育観について理解を深めます。そして、ICF 関連モデルの書き方、活用方法について、具体的な例を挙げて、演習を行います。そして、特別支援教育コーディネーターの役割・校内委員会のあり方についても考察し、ICF 関連モデルの活用について考えます。

8月 1日(水)

分野:美術 工 芸

5 : アジアのかたち・日本のかたち～漆 japan

－ 漆絵による表現 絵付け ワークショップ －

講 師：松島 さくら子

会 場：図画工作室

対 象 者：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員：20名

準備等：・エプロンなど作業に適した服装（できれば長袖）

・材料費 800円程度（漆塗碗、漆、顔料、その他）

・黒塗碗の内外に色漆（10色程度）や金粉・金箔を使用すると想定して、絵付けの図案の構想をしておいてください。

・絵付けした作品（直径約13cm）を入れ持ち帰るための箱を持参してください。

※漆は皮膚につきますとかぶれの現象を起こすことがありますので、ご理解の上ご参加ください。（作業用ゴム手袋は用意しております）

概 要： 漆芸を中心に日本やアジアの工芸を紹介する講義と、本漆による器への絵付けワークショップを行います。日本の伝統工芸を身近に体験する機会となることを望んでいます。

8月 1日(水)

分野:教 育 学

6 : 新学習指導要領における道徳教育

講 師：上原 秀一

会 場：教育学部A棟2F 小会議室

対 象 者：小学校・中学校・特別支援学校（小・中）の教職員

定 員：20名

準備等：なし

概 要： 平成23年度に小学校で、平成24年度に中学校で施行の新学習指導要領における道徳教育の取り扱いの改訂点と改訂の趣旨を確認します。さらに、道徳教育の四つの視点（①主として自分自身に関すること、②主として他の人とのかかわりに関すること、③主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること、④主として集団や社会とのかかわりに関すること）に沿って、新指導要領に基づく「道徳の時間」の授業作りについて指導資料や指導法などを検討します。

8月 8日(水)

分野:技

術

7 : おもしろ電子工作

講 師 : 苫米地 義郎

会 場 : 教育学部理科棟 1 F 電気実験室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 6名

準備等 : なし

概 要 : トランジスタや抵抗等がブロック化されている、市販の電子ブロックを用いていろいろな電子回路（ゲルマニウムラジオや電子オルゴール等）を作製してもらいます。実際に稼働させ、回路が正常に作動するかどうかを調べます。また、担当者からは、製作した回路の動作原理を説明するとともに、授業（主に中学校技術）の教材として、どのように生かすかについて議論します。

8月 9日(木)

分野:保 健 体 育

8 : 発育期における体育・スポーツ指導のあり方

講 師 : 加藤 謙一

会 場 : 生涯学習教育研究センター B講義室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 20名

準備等 : トレーニングウェア（着替え等）、体育館シューズ、はさみ

※講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加ください（見学可）。実技内容はハードではないのでご安心ください！

概 要 : 現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに、基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。

8月10日(金)

分野:教 育 学

9 : 校内授業研究を中心とした学校改善

講 師 : 松本 敏

会 場 : 教育学部理科棟2F 大会議室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 50名

準備等 : なし

概 要 : 一人一人の教員の力量を高めることが大切なのはもちろんですが、それだけでは学校全体の力は高まりません。どうすれば同僚性を高め、個々の力を結集できるのでしょうか。校内授業研究を継続することで学校が活性化する道筋を、私が実際に関わった小・中学校の経験をもとに考えます。

8月10日(金)

分野:数 学

10 : 算数的・数学的活動を中心とした授業づくり

— 数学的思考力の育成を目指して —

講 師 : 牧野 智彦

会 場 : 教育学部A棟3F マルチメディア教室 1

対 象 者 : 小学校・中学校・特別支援学校(小・中)の教職員

定 員 : 20名

準備等 : なし

概 要 : 本講座では、算数的・数学的活動、数学的思考力について、小学校算数科、中学校数学科の具体的事例に即して考察し、児童・生徒が算数的・数学的活動を遂行できるようにする授業を構想する上でのポイントについて検討します。

本講座では、先生方の日々の授業実践を振り返り、授業を改善する糸口を見出してほしいと思います。

8月21日(火)

分野:情報教育

1 1 : 授業に役立つ情報メディアの活用と学習指導

講 師 : 石川 賢、川島 芳昭

会 場 : 教育学部附属教育実践総合センター2F 計算室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 25名

準備等 : なし

概 要 : 学校教育の情報化や情報教育の内容・方法について具体的な事例を基に検討します。さらに、コンピュータ・ネットワークなどの情報メディアや、学習指導用のコンテンツを授業で活用するための方法を検討します。

8月21日(火)

分野:生活科学・環境教育

1 2 : 伝統染織にみる感性を取り入れた家庭科教育

講 師 : 佐々木 和也

会 場 : 教育学部B棟2F 被服実習室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 20名

準備等 : ゴム手袋、エプロン

※染色実習をしますので動きやすい服装で受講してください。

概 要 : 新学習指導要領において「伝統・文化」を各教科に取り入れることが課題になっています。本講座では、伝統染織という手仕事をもつ環境観や生命観などについて述べ、家庭科教育を中心に感性を育む「ものづくり」の要素を取り入れることの意義について講義します。また、染織実習を体験することで理解を深め、学校現場での利用についても検討します。

8月22日(水)

分野:環境教育・理科教育

13: 放射線について体験的に学ぼう

講師: 山田 洋一、堀田 直己

会場: 教育学部A棟2F 2201教室

対象者: 小学校・中学校・高等学校の教職員

定員: 20名程度

準備等: 実験や作業に適した服装

概要: β 線、 γ 線などの放射線を見て、測って、幅広く体験してもらいます。(人体からも出ています。危険は無い)

また、放射線の教え方について、日頃考えていることを参加者同士で意見交換する場も提供したいと思います。

8月23日(木)

分野:英語教育

14: 中学校・高校の英語教科書からの新展開

講師: 幡山 秀明

会場: 教育学部A棟2F 2201教室

対象者: 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定員: 30名程度

準備等: 学校で使用する英語教科書数冊。または、手持ちの英語教科書。

概要: 中学校や高校で使用されている様々な英語教科書について総括し、共通して取り扱われている題材を考察します。特に、戦争と平和、人種問題、環境問題、物語などに焦点を当てながら、教科書の中では簡単に触れられているだけの内容に関して、オリジナルのテキストやフィルムなどを確認することで更に理解を深めていきます。教員としての水面下の知識を補充するような講座を目指します。

8月24日(金)

分野:世界史

15 : ヨーロッパ文明の正体

講 師 : 下田 淳

会 場 : 教育学部A棟3F 2301教室

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

定 員 : 50名

準備等 : なし

概 要 : 現在世界を仕切っているヨーロッパ文明（北米も含む）が、他の文明を圧倒して、なぜ世界をリードするようになったかの本当の理由を講義します。

具体的には、①最北の文明、②コピー文明、③諸権力分散の文明、④マネー文明、⑤欲求不満の文明、⑥棲み分けの文明、といった6つのキーワードから読み解いていきます。